

週間市場レポート (2020年5月4日~5月8日)

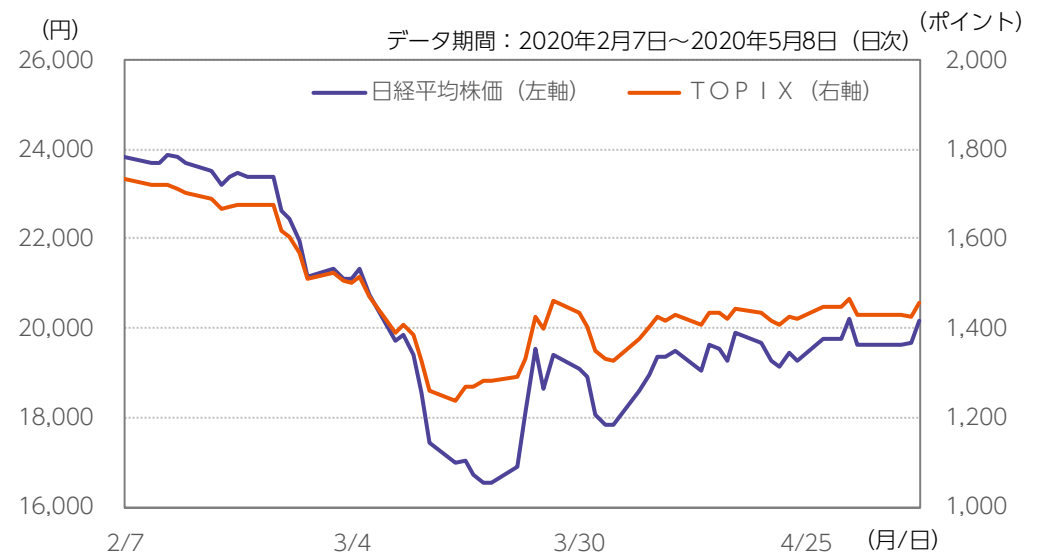
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/5/1	先週末 2020/5/8	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		19,619.35	20,179.09	2.85 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,431.26	1,458.28	1.89 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		23,723.69	24,331.32	2.56 ↗
S & P500種指数		2,830.71	2,929.80	3.50 ↗
ユーロ・ストックス50指数		2,927.93	2,908.11	▲0.68 ↘
S & P/ASX300指数		5,211.80	5,359.86	2.84 ↗
上海総合指数		2,860.08	2,895.34	1.23 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		755.98	752.05	▲0.52 ↘
東証REIT指数		1,564.67	1,655.72	5.82 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		619.63	632.37	2.06 ↗
ASX300 REIT 指数		1,088.90	1,140.20	4.71 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		148.08	149.86	1.20 ↗
日本10年国債 (%)		▲0.02	▲0.00	0.02 ↗
米国10年国債 (%)		0.61	0.68	0.07 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.59	▲0.54	0.05 ↗
英国10年国債 (%)		0.25	0.24	▲0.01 ↘
ドル/円		106.91	106.65	▲0.24 ↘
ユーロ/円		117.33	115.50	▲1.56 ↘
英ポンド/円		133.73	132.30	▲1.07 ↘
豪ドル/円		68.62	69.68	1.55 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,644.40	1,775.61	7.98 ↗
WTI原油先物 (ドル)		19.78	24.74	25.08 ↗
CRB 指数		117.63	124.74	6.05 ↗
アレリアンMLP指数		694.99	715.74	2.99 ↗

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。中国の貿易統計が改善したことや、欧米での経済活動の再開などを背景に上昇しました。また、国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあることも株式市場の下支えとなりました。

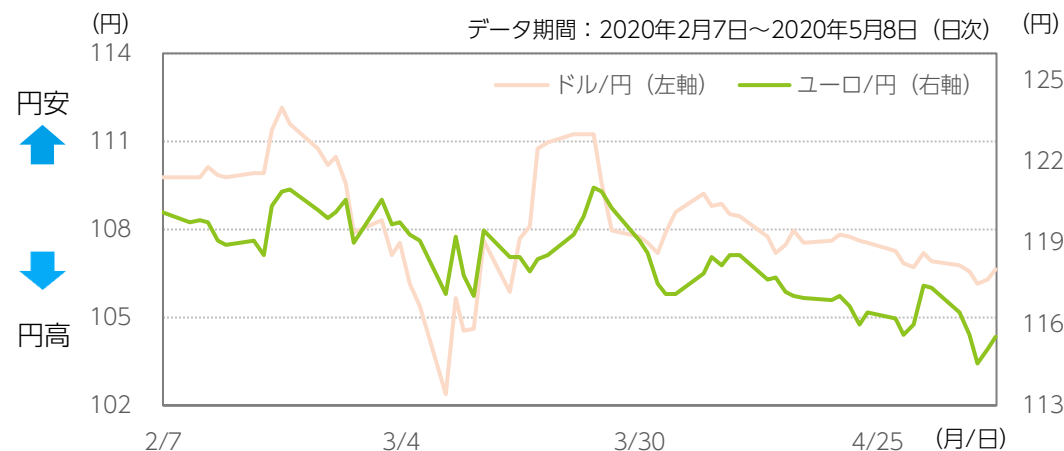


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 労働節で5月1日は休暇のため、上海総合指数は4月30日のデータ。

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。
 新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる米中対立の激化懸念から、円買い米ドル売りが優勢となりました。対ユーロでは、欧州準備銀行の政策運営の不透明感と欧州の景気先行き懸念などから大幅に円買いユーロ売りが進行しました。



≪ 債券 ≫

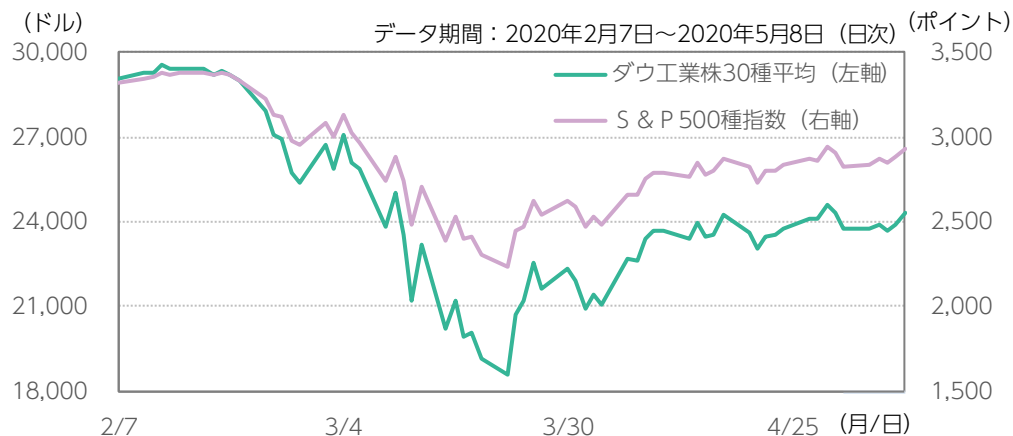
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。
 欧米において経済活動を再開する動きが広がりつつあり、投資家がリスクを取る動きが高まったことから、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となりました(利回りは上昇)。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。
 新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる米中対立の激化懸念がくすぶるものの、一部の州では活動の制限を緩和しており、経済活動正常化への期待感などから週を通じて概ね上昇基調となりました。



5) 今週の見通しについて

足元では、新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる米中対立の激化懸念がくすぶるもののドイツやイタリア、スペインなどの一部の国においてロックダウン（都市封鎖）を段階的に緩和する動きが見られ始めています。欧米における経済活動を再開する動きが広まりつつあることから、先週の株式市場は、日米両市場ともに上昇しました。

引き続き、国内外における新型コロナウイルス感染者数の動向や、経済活動の再開に向けた各国の対応や政策の効果、製薬会社の抗ウイルス薬の開発状況などが注目材料となりそうです。今週の株式市場は、経済再開への期待感から日米両市場ともに上昇基調となるものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>